

平成16年6月期 航空特殊無線技士 試験問題

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法

規

[1] 次の文は、電波法に規定する「無線局」の定義であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局とは、無線設備及び の総体をいう。ただし、受信のみを目的とするものを含まない。」

1. 無線通信を行う者
2. 無線設備の所有者
3. 無線設備を運用する者
4. 無線設備の操作を行う者

[2] 「振幅変調の両側波帯・アナログ信号である単一チャンネル・電話」のものについて、電波の型式を表示する記号は、次のどれか。

1. A3E
2. A3F
3. F3F
4. J3E

[3] 航空特殊無線技士の資格を有する者が25,010 キロヘルツ以上の周波数の電波を使用する航空機局（航空運送事業の用に供する航空機ものを除く。）の無線電話で国内通信のための通信操作を行うことができるものの最大の空中線電力は、次のどれか。

1. 100 ワット
2. 50 ワット
3. 10 ワット
4. 5 ワット

[4] 無線従事者の免許を取り消されることがある場合は、次のどれか。

1. 引き続き6か月以上無線設備の操作を行わなかったとき。
2. 日本の国籍を有しない者となったとき。
3. 電波法に違反したとき。
4. 免許証を失ったとき。

[5] 電波法に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を認めたとき、電波法の規定により免許人がとらなければならない措置は、次のどれか。

1. その無線局の免許人を告発する。
2. 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
3. その無線局の電波の発射を停止させる。
4. その無線局の免許人にその旨を通知する。

[6] 無線局が再免許を受けたときは、従前の無線局の無線検査簿をどのようにしなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 廃棄する。
2. 2年間保存する。
3. 旧免許状とともに返納する。
4. そのまま継続して使用する。

法

〔7〕 無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているのは、次のどれか。

1. 必要のない無線通信は、これを行ってはならない。
2. 無線通信は有線通信を利用することができないときに限り行うものとする。
3. 無線通信は長時間継続して行ってはならない。
4. 無線通信を行う場合においては、略符号以外の用語を使用してはならない。

〔8〕 次の文は、航空機局の運用に関する電波法の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「航空機局の運用は、その航空機のに限る。ただし、受信装置のみを運用するとき、第52条各号に掲げる通信を行うとき、その他総務省令で定める場合は、この限りでない。」

1. 航行中
2. 整備中
3. 離陸時及び着陸時
4. 航行中及び航行の準備中

〔9〕 無線局は、無線設備の機器の試験又は調整を行うために運用するときは、なるべく何を使用しなければならないか、次のうちから選べ。

1. 水晶発振回路
2. 高調波除去装置
3. 擬似空中線回路
4. 空中線電力の低下装置

規

〔10〕 次の文は、航空局の運用義務時間中の聴守電波について述べたものである。 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「航空局の聴守電波の型式は、とし、その周波数は、別に告示する。」

1. A3E又はJ3E
2. F3E
3. H3E
4. R3E

〔11〕 121.5MHzの電波の使用が許される場合について無線局運用規則に規定されているのは、次のどれか。

1. 電波の規正に関する通信を行うとき。
2. 121.5MHz以外の周波数の電波を使用することができない航空機局と航空局との間に通信を行うとき。
3. 気象の照会のため航空局と航空機局との間で通信を行うとき。
4. 時刻の照会のために航空機局相互間において通信を行うとき。

〔12〕 無線電話通信において、自局に対する呼出しを受信した場合に、呼出局の呼出名称が不確実であるときは、無線局運用規則の規定により応答事項のうち相手局の呼出名称の代わりに、次のどれを使用して直ちに応答しなければならないか。

1. 反復願います
2. 貴局名は何ですか
3. 誰かこちらを呼びましたか
4. 再びこちらを呼んでください